

# 日本におけるデジタル化の状況

G584782025 藤戸 慎汰

2025 年 7 月 7 日

## 1 デジタル競争力ランキング

国際経営開発研究所（IMD）の調査 [1] によると、日本のデジタル競争力ランキングは図 1 を示すように、調査対象の 64 カ国中、総合で 28 位、準備分野で 27 位となっている。

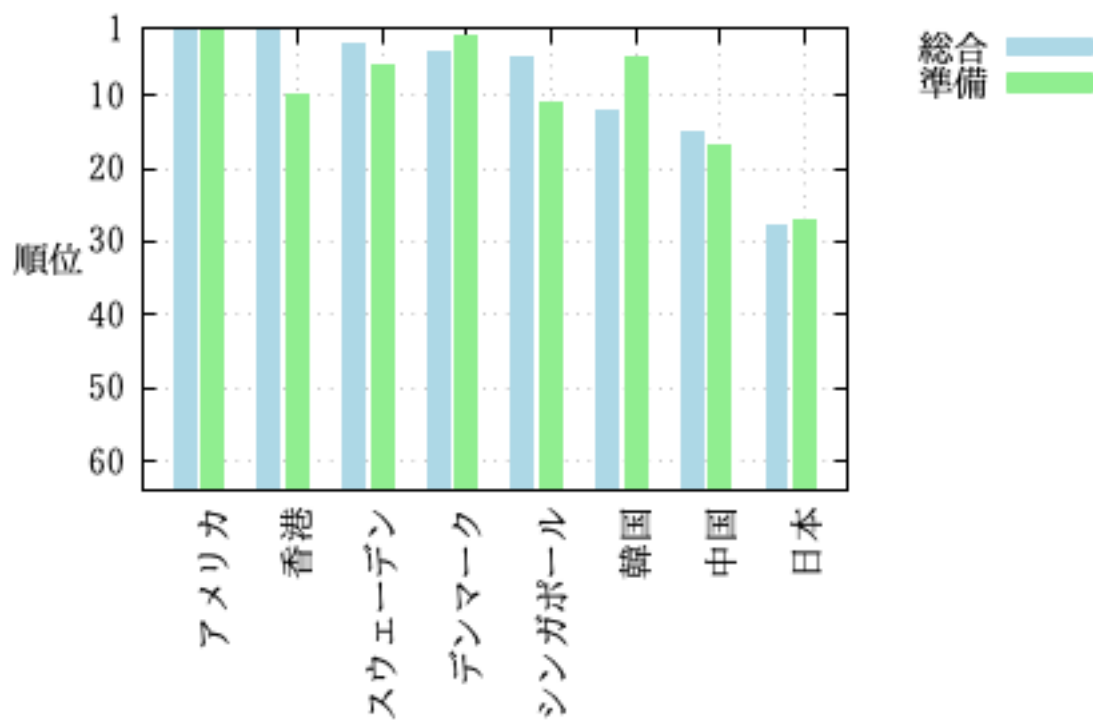


図 1: デジタル競争力ランキング（64 カ国中）

## 2 ブロードバンドの整備状況

OECD によるブロードバンド回線の普及に関する調査 [2] によると、表 1 に示すように、日本における 100 人あたりのモバイルブロードバンドの加入者数は 190.5 で、第 1 位になっている。2 位はエストニアで、3 位米国と続く。

表 1: モバイルブロードバンドの加入者数 (100 人あたり)

順位	国名	加入者数
1 位	日本	190.5
2 位	エストニア	179.9
3 位	米国	169.0
4 位	フィンランド	157.0
5 位	デンマーク	141.7
6 位	ラトビア	141.6
7 位	イスラエル	139.9
8 位	オランダ	133.7
9 位	ポーランド	131.3
10 位	スウェーデン	127.2

## 3 考察

上記の内容から次のことが考えられる。

- 日本が今後の企業が海外に対抗するためには企業がデジタル技術を使った効率化などの技術革新を行う必要性が考えられる。
- モバイルブロードバンドを提供する企業が海外進出を進め、さまざまな国で 5G 通信が行えるようになることが、各国の普及率増加につながると考えられる。

## 参考文献

- [1] IMD. IMD world digital competitiveness ranking. <https://www.imd.org/centers/world-competitiveness-center/rankings/world-digital-competitiveness/>, 2021.
- [2] OECD. Broadband Portal. <https://www.oecd.org/digital/broadband/broadband-statistics/>, 2022.